

# 第3学年2組 学級活動(1)指導案

第3学年2組(児童数29名)

指導者 松岡 果奈子

## 1 議題 「『ステップからジャンプ』の会をしよう」

【学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決】

## 2 児童の実態

本学級の児童は、何事にもすすんで取り組む気持ちを持ち、係や当番活動など、誰かの役に立つことを積極的に行っている。特に、係活動など、アイデアを出し合ったり、協力したりしながら友達と関わり活動することを好んで行っている。また、掃除や給食当番などの活動でも、自分から進んで行ったり、やり方や手順を考えて取り組んだりする中で、友達の働きぶりなどを見て、互いに称賛し合う姿も見られるようになってきている。一方で、まだ教師の指示がないと動けなかったり他の児童に任せてしまったりする児童もいる。

1学期の学級会に関しては、1、2年生の時の学級会の経験をもとに、計画委員を分担したり、自分の考えをすすんで発表したりして、「学級の友達と仲を深めるための集会」や、「転校してしまう子を送る集会」を開くことを議題に、話し合いをしてきた。事前に一人一人が自分の意見をもつ時間をとり、また、それを互いに見合うことで他の児童の意見を参考にしながら自分の意見をまとめて、話し合うことができた。しかし、提案理由から外れて話し合いが進んでしまったり、それを修正することができなかつたり、児童だけでは話し合いが進まなかつたりする場面も見られた。また、まとめる段階ではうまく合意形成ができずに教師に頼ってしまうこともあった。その都度、計画委員と進行について相談したり、学級全体にどのような意見の出し方がよいか助言したりしてきた。また、心配意見については十分に話し合いを深めることができない場面もあった。

2学期は、「季節の集会」や「音楽会の頑張ったねの会」を企画し、クラスの仲をより深めたり、友達のよさを感じたりできる集会を行った。そのための学級会では、輪番で児童が計画委員を経験したり、合意形成のためのポイントや、上手な話し合いの仕方について確認したりした。心配意見が出された場合の解決策についても、相手の気持ちに寄り添い、アイデアを出すこともできるようになってきた。

本議題は「自分たちが成長する中でできるようになったことやそれぞれのよさを共有したい。」という児童の思いをもとに計画委員で選定し、その後全員で決定した。また、担任から4年生への進級を前に、学年の合言葉「ステップ」から、「ジャンプ」するというイメージを伝え、「“ステップからジャンプ”の会」と称した発表会をすることとなった。話し合いと実践を通して、互いを認め合えるような温かい学級生活が送れるように、一人一人の自信と意欲を高めたい。

## 3 本時のねらい

1～3年生の自分を振り返り、互いを認め合えるような会の内容や必要な役割を考え、自分の役割を決めることができるようにする。

## 4 指導計画

議題	「ステップからジャンプ」の会をしよう	
提案理由	小学校生活ももうすぐ半分が終わり、できるようになったことがたくさんある。それを発表し、みんなのよさを感じられる楽しい会をしたい。	
計画委員会	司会、黒板記録、ノート記録、時計	
話し合いの順序	教師が気を付けること	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
1.はじめの言葉 2.司会グループの紹介 3.議題の確認 4.提案理由の確認 5.決まっていることの確認 6.話し合うことの確認 7.話し合い 話し合うこと① 「『ステップからジャンプ』の会で何をするか」 話し合うこと② 「役割分担をしよう」 8.決まったことの確認 9.振り返り 10.先生からの話 11.終わりの言葉	・提案理由をもとに、目的を意識した話し合いができるようにする。(6について) ・あらかじめ意見を出させ、短冊に記入し、比べ合う段階から話し合わせる。(7について) ・それぞれの意見のよいところを見つけ賛成意見を出したり、心配意見に対して改善策が出したりできるように声をかける。(7について) ・計画委員会のねざらいや前回よりもよくなった点、今後の課題、実践への意欲付けなどについて簡潔に述べる。(10について)	・提案理由に沿って意見を発表したり、友達の考えに対して自分の意見を発表したりし、意見を出したり、合意形成したりしている。 【思考・判断・表現】 〈観察・学級会カード〉

## 5 指導上の留意点

・集会を行うために話し合いをするので、できるだけみんなの思いを生かしながらかまとめるように助言する。